

2026/3/4 大西班会議16:00-17:00

品質保証および医療安全に関するQI調査

国立がん研究センター中央病院 岡本裕之
 埼玉医科大学総合医療センター 水野統文

品質保証および医療安全に関するQI調査

- ・ JASTRO医療安全委員会と当該研究班の合同で実施
- ・ 全国調査ははじめての試み（2019年にがん診療連携拠点病院実施）
- ・ アンケート対象期間：2025/5-9月
- ・ 回答率52%（424 / 816 施設）
- ・ 今後調査の効果について評価し事業化を提案

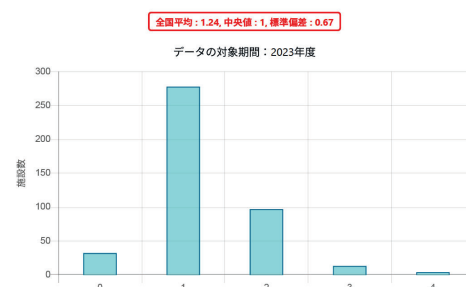
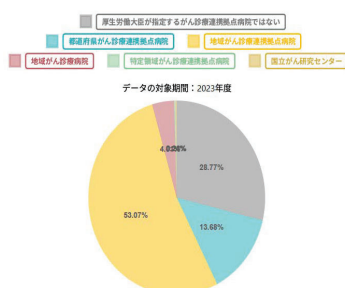
調査の流れ

- ・ 各施設アカウントを作成（初回のみ）
- ・ Webシステムを通して回答
- ・ 複数スタッフが利用可能
- ・ QI改善項目や全国分布との比較が可能

QI項目の例

- ・ レポートシステムの有無
- ・ エラー共有のカンファレンスの有無
- ・ 第三者評価の実施状況
- ・ 全例でのIMRT線量検証の実施など

日本の現状を反映：小・中規模病院も含まれている

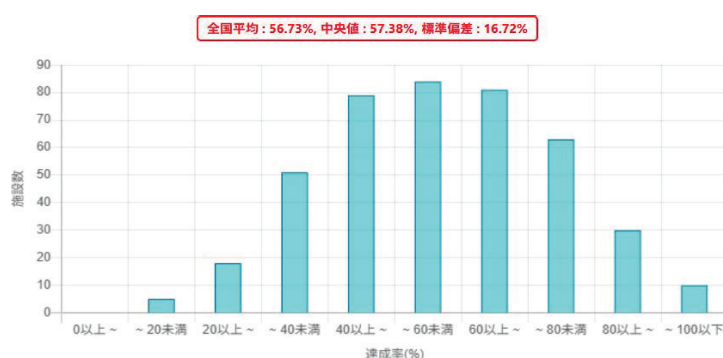


品質保証および医療安全に関するQI調査

2019年の調査結果
がん診療連携拠点病院（410施設）
回答率：72%（284施設回収）



2023年の調査結果
全国調査
回答率：52%（424/816施設）

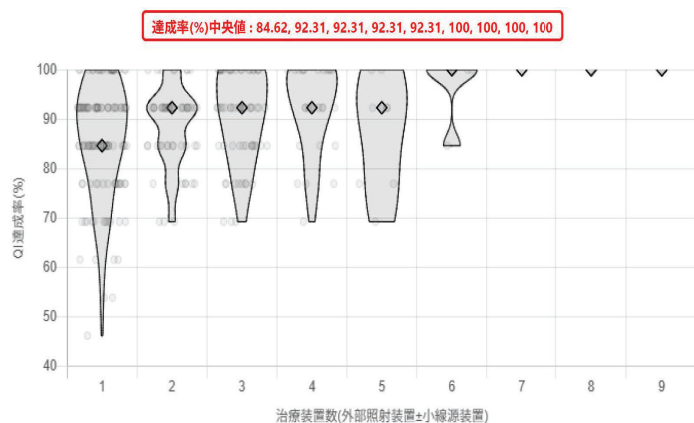


QI達成率 = 満たしているQI項目数 ÷ 全QI項目数

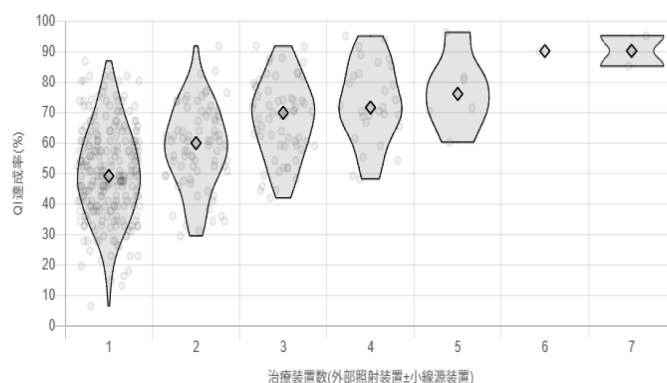
当該データはJASTRO 医療安全委員会での承認後、HPにて公開予定

品質保証および医療安全に関するQI調査

2019年の調査結果
がん診療連携拠点病院（410施設）
回答率：72%（284施設回収）



2023年の調査結果
全国調査
回答率：52%（424/816施設）

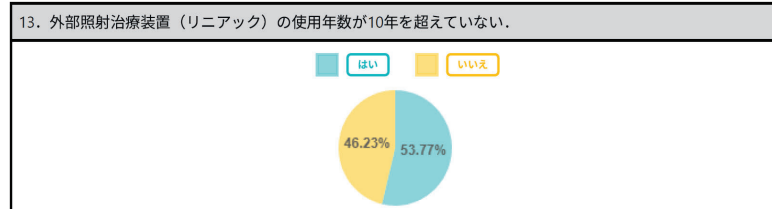
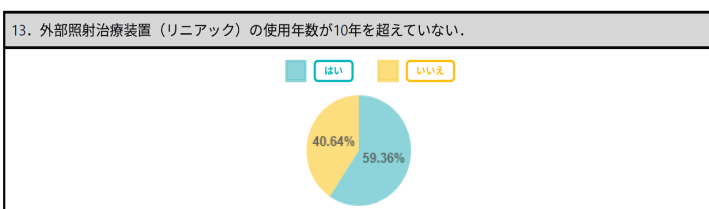
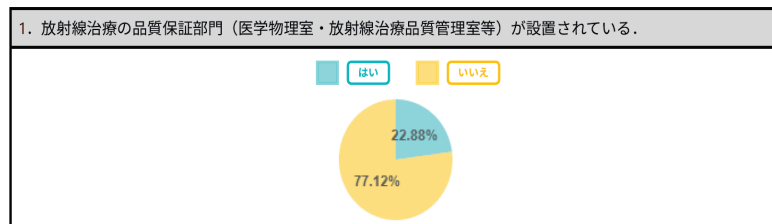
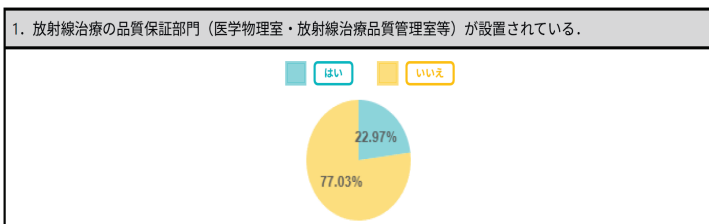


当該データはJASTRO 医療安全委員会での承認後、HPにて公開予定

品質保証および医療安全に関するQI調査

2019年の調査結果
がん診療連携拠点病院（410施設）
回答率：72%（284施設回収）

2023年の調査結果
全国調査
回答率：52%（424/816施設）

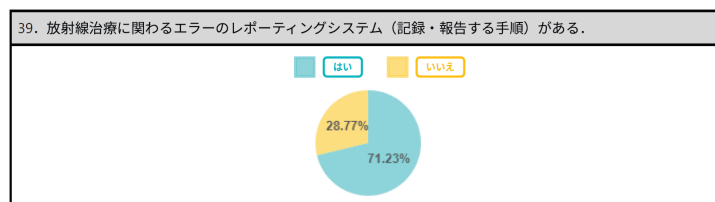
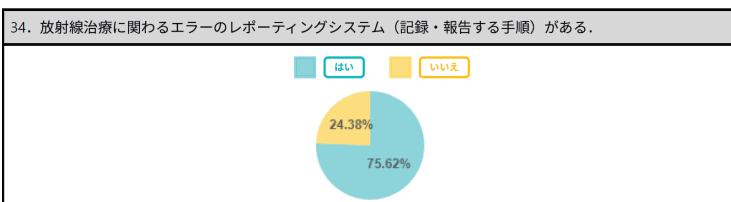
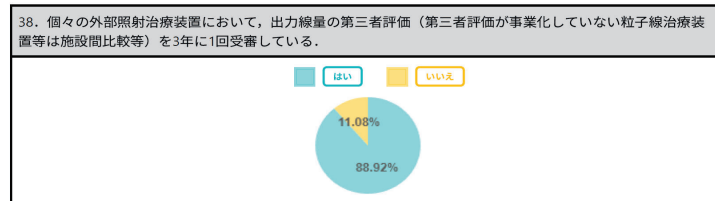
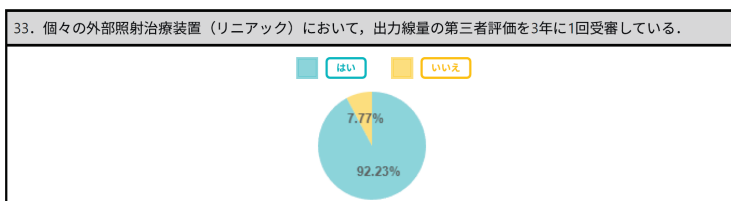


当該データはJASTRO 医療安全委員会での承認後、HPにて公開予定

品質保証および医療安全に関するQI調査

2019年の調査結果
がん診療連携拠点病院（410施設）
回答率：72%（284施設回収）

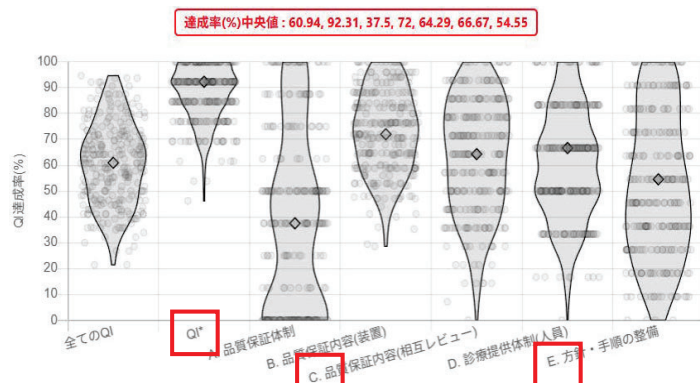
2023年の調査結果
全国調査
回答率：52%（424/816施設）



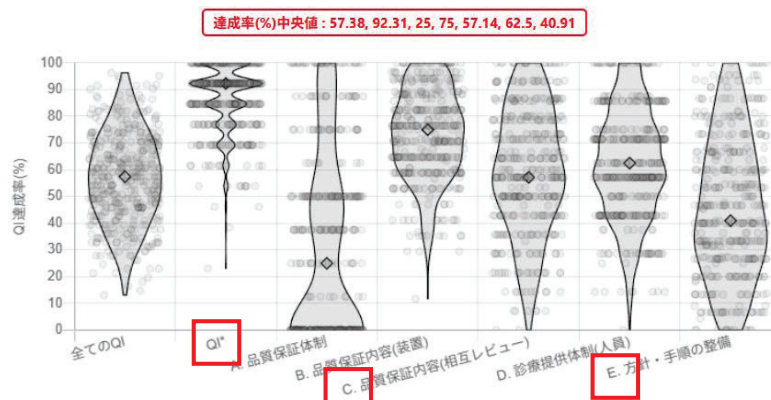
当該データはJASTRO 医療安全委員会での承認後、HPにて公開予定

品質保証および医療安全に関するQI調査

2019年の調査結果
がん診療連携拠点病院（410施設）
回答率：72%（284施設回収）



2023年の調査結果
全国調査
回答率：52%（424/816施設）



過去の調査（拠点病院）との比較

- ・ 必須QI*（必要とされるQI項目）の達成率低下
- ・ 「C. 品質保証」、「E. 方針・手順の確立」の達成率低下

当該データはJASTRO 医療安全委員会での承認後、HPにて公開予定

品質保証および医療安全に関するQI調査

2023年の全国調査結果（回答率：52%（424/816施設））

上位10のQI（オレンジはエキスパートパネルで重要QI）

順位	施設達成割合 (%)	大項目	QI番号	QI
1	100.0	B	QI 35	低線量率密封小線源治療において、術前には使用する一時または永久列入線源の検定日と数を、術後には使用した線源（挿入と余剰の合算）数に誤りがないことを確認している。
2	99.1	B	QI 18	小線源治療装置（RALS）の線源交換が、192Irの場合は半年に1回以上、60Coでは10年に1回以上の頻度で実施されている。
3	97.6	B	QI 9	全ての外部照射治療装置（粒子線治療装置等を含む）のベンダーとの保守契約が締結されている。
4	97.3	B	QI 32	高線量率密封小線源治療に用いる線源を受け入れた際に、線源強度計測を行い、検定書に記載された基準空気カーマ率と計測値を比較している。
5	96.5	B	QI 31	外部照射用のリファレンス電離箱線量計は1年に1回、電位計は3年に1回のJCSS校正が実施されている。
6	96.0	D	QI 54	外部照射治療装置（粒子線治療を含む）1台につき、必ず2名以上の技師が照射業務を行っている。
7	95.4	B	QI 14	小線源治療装置（RALS）のベンダーとの保守契約が締結されている。
8	95.0	B	QI 19	外部照射（粒子線治療を含む）用の治療計画装置（RTPS）のベンダーとの保守契約が締結されている。
9	94.3	B	QI 10	全ての外部照射治療装置（粒子線治療装置等を含む）のコミショニングレポートが保存されている。
10	93.2	C	QI 46	全ての治療計画において、治療初回時および定期的な画像確認の実施記録が保存されている。

下位10のQI

順位	施設達成割合 (%)	大項目	QI番号	QI
53	47.2	B	QI 16	小線源治療装置（RALS）のコミショニング結果が、QA委員会（もしくは相当するカンファレンス等）で報告されている。
54	46.9	B	QI 26	小線源治療用の治療計画装置（RTPS）のコミショニング結果が、QA委員会（もしくは相当するカンファレンス等）で報告されている。
55	45.5	C	QI 48	頭頸部がん診療連携拠点病院が、開催されており、放射線腫瘍医が定期的に参加している。
56	44.3	A	QI 5	放射線治療品質管理委員会（QA委員会）が設置されている。もしくはQA委員会相当となるカンファレンスが開催されている。
57	44.3	C	QI 40	定期的なエラーの評価・改善を行うカンファレンスが開催されており、その議事録が保存されている。
58	44.1	A	QI 7	QA委員会（もしくは相当するカンファレンス）が定期開催されている。
59	44.1	E	QI 78	外部照射治療（粒子線治療含む）において、患者急変時の方針と手順が文書化されており、スタッフに対する定期的なトレーニングの結果が保存されている。
60	43.9	A	QI 8	QA委員会（もしくは相当するカンファレンス）の議事録が保存されている。
61	43.6	C	QI 51	消化器がん診療連携拠点病院が、開催されており、放射線腫瘍医が定期的に参加している。
62	42.0	E	QI 67	プロセスマップ（チャート・ツリー）等を用いた放射線治療ワークフローの可視化が行われている。

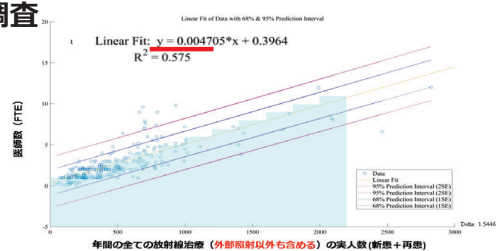
- ・ 小線源治療関連
- ・ 医療安全関連
- ・ TG-100「放射線治療リスク分析の指針」の推奨項目

当該データはJASTRO 医療安全委員会での承認後、HPにて公開予定

品質保証および医療安全に関するQI調査

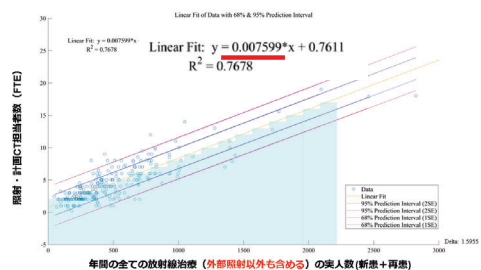
医師：年間患者数200名毎に1名追加（青色はJASTROQAシステムガイドライン）

2019年調査 拠点病院



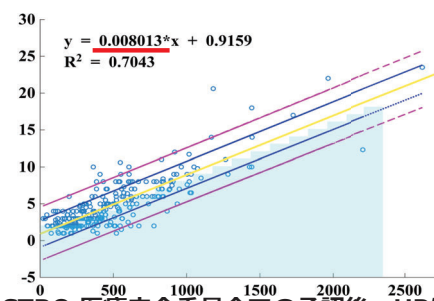
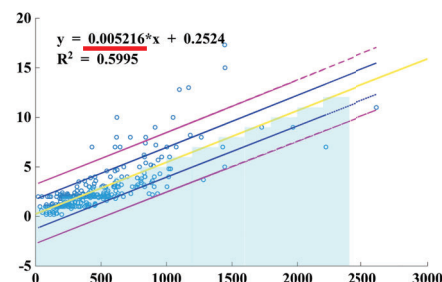
技師：QAシステムガイドライン記載なし

・体外照射の平均分割数20回、2名/1装置、20患者/日で計算（青色）



- 傾きがわずかに改善
- 青色に関しては未達成の施設が多い

2025年調査 全国調査

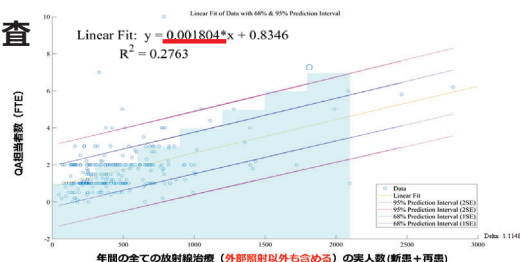


当該データはJASTRO 医療安全委員会での承認後、HPにて公開予定

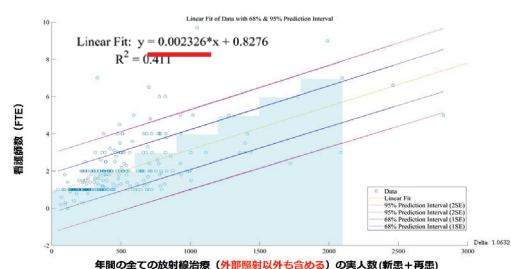
品質保証および医療安全に関するQI調査

QA担当者：年間患者数300名毎に1名追加（青色）

2019年調査 拠点病院

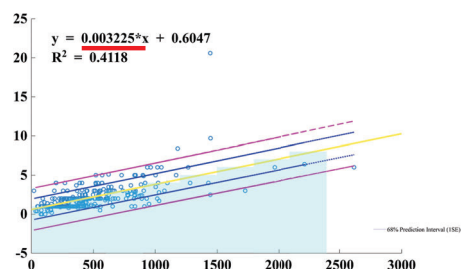
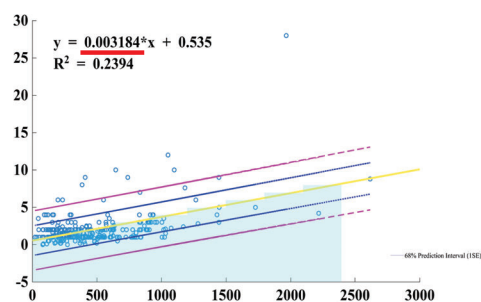


看護師：年間患者数300名毎に1名追加（青色）



- QA担当者、看護師が不足気味、未達成施設が多い

2025年調査 全国調査



当該データはJASTRO 医療安全委員会での承認後、HPにて公開予定